



安全運転支援操作マニュアル

Release 1.0.0

redfox, Inc. All Rights Reserved.

July 01, 2016

目次

第 1 章	概要	1
1.1	安全走行支援機能とは	1
1.2	安全走行支援機能の仕組み	1
1.3	利用開始から運用までの流れ	3
第 2 章	管理者の操作方法	4
2.1	ログイン	4
2.2	初期設定	4
第 3 章	ユーザーの操作方法	9
3.1	ホーム画面	9
3.2	履歴画面	10
3.3	運転中の警告について	10
第 4 章	運用方法	12
4.1	運転データを閲覧する	12
4.2	走行状況管理者を追加する	14
4.3	危険運転の通知設定をする	16
4.4	危険運転をしたメンバーの状況を確認する	17

第 1 章

概要

1.1 安全走行支援機能とは

cyzen は位置情報を活用したビジネスアプリケーションサービスです。

車輌にスマートフォンを設置して、運転モードに切り替えることで安全走行支援を行うことができます。

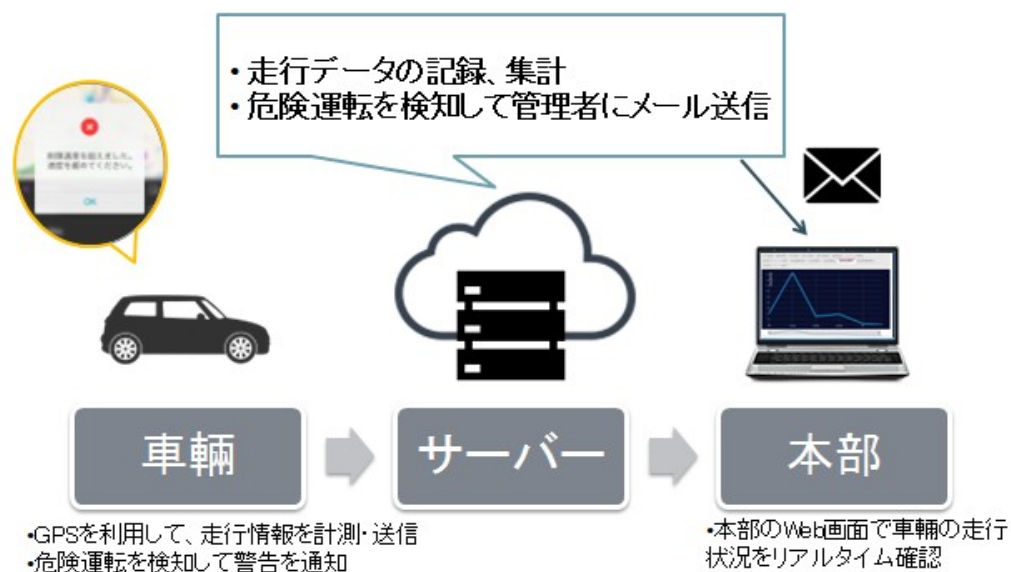


安全走行支援機能では以下のようなことができます。

- スマートフォンを使って、メンバーの車輌運転記録を取得できます。
- 危険運転の閾値を設定して、メンバーの端末に警告を表示させることができます。
- 集計したメンバーの運転記録を閲覧できます。

1.2 安全走行支援機能の仕組み

スマートフォンとサーバーと本部、それぞれの役割を説明します。



1.2.1 車両

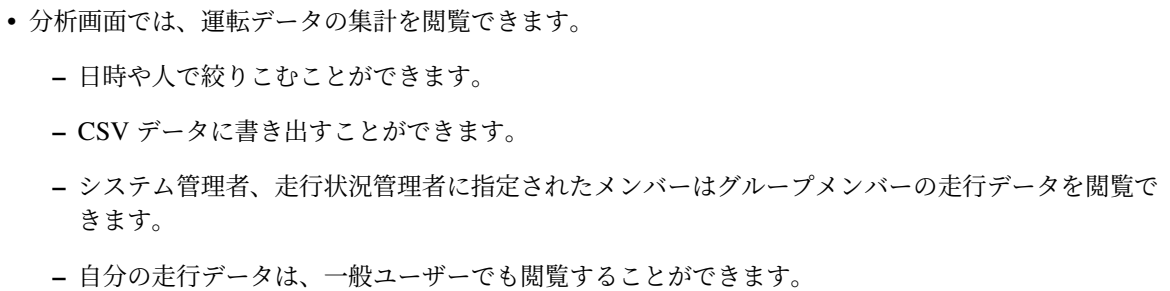
- スマートフォンの GPS を用いて走行中の位置情報を随時取得し、1 分間隔でサーバーにデータを送信します。
- 急ブレーキ、急発進、スピード超過など危険運転を検知した場合は端末に警告を表示します。
サーバーにもデータを送信します。

1.2.2 サーバー

- スマートフォンから送信されたデータを蓄積して集計します。走行距離、運転時間、最大加速度、アイドリング時間など
- 危険運転のデータが送られてきた場合は管理者にメールで通知することができます。
通知設定については [こちら](#) をご覧ください。

1.2.3 本部

- 管理サイトの WEB 画面上で、車両の走行状況などをリアルタイムで閲覧できます。



- ### 1.3. 利用開始から運用までの流れ

第 2 章

管理者の操作方法

2.1 ログイン

ログインは [こちらのページ](#) からできます。

- ユーザー、グループ管理者の場合は、cyzen のアプリと同じアカウントでログインします。
- システム管理者の場合は、契約時にお伝えしたアカウントでログインします。

A screenshot of the cyzen login page. At the top left is the cyzen logo. Below it, a message in Japanese says: 'この先へはログインが必要です。' (You need to log in to proceed.) and 'まだ申込が完了していない方は、申込をお願いします。' (If your application is not yet complete, please apply.). There are two input fields: 'ログインID' (Login ID) and 'パスワード' (Password). Below these fields is a blue button labeled 'ログイン' (Login).

2.2 初期設定

ここでは初期設定の方法を説明します。

2.2.1 運転開始、運転終了を設定する

初期状態では、メンバーのアプリで運転データを記録することができません。

1. 管理サイトのメニュータブから報告設定 > ステータス管理をクリックします。
2. 画面下部の「ステータスを作成するボタン」から、運転開始・運転終了のボタンを設定してください。

Note: この操作はシステム管理者以外行うことができません。

Note: この設定を行うと、アプリバージョン v.3.4.4 以前をご利用のユーザーが打刻した際にルート自動記録が停止します。メンバー全員のアプリのバージョンを v3.4.4 以降にした上で行って下さい。

■ 運転開始

■ 運転終了



• 運転開始

1. ステータス名に「運転開始」を表す言葉を入力してください。
2. ルート自動記録の欄を「ドライブモード開始または継続」にしてください。
3. 「ステータスを作成する」ボタンを押してください。

• 運転終了

1. ステータス名に「運転終了」を表す言葉を入力してください。
2. ルート自動記録の欄を「ドライブモード終了」にしてください。
3. 「ステータスを作成する」ボタンを押してください。

2.2.2 ステータスを見やすくする

- 初期状態では、メンバーのアプリで運転データを記録することができません。
- ステータス画像を変更して、とっさに区別がつくようにします。

ステータス名	画像		ステータス名	画像
出勤			出勤	
訪問			訪問	
作業開始			作業開始	
作業終了			作業終了	
退勤			退勤	
速度超過			速度超過	
急加速			急加速	
急減速			急減速	

1. 管理サイトのメニュータブから報告設定＞ステータス管理をクリックします。
2. ステータスの行の右端にある「編集」ボタンを押してステータスを編集します。
3. 編集画面の「画像を変更する」ボタンを押して、画像を選んでください。
4. 「ステータスを更新する」ボタンを押すと更新できます。

ステータス管理 ＞ ステータス編集

基本設定

ステータス名： 長時間アイドリング

種類： 長時間アイドリング

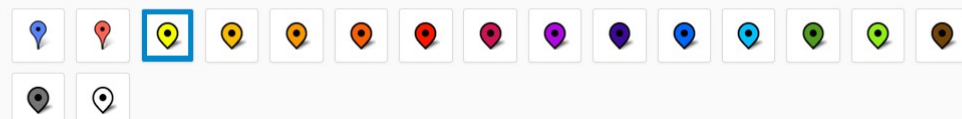
● ドライブモード用のステータス項目です。
 このステータスはアプリのホーム画面には表示されません。
 自動計測及び、集計対象となるステータス項目になります。
 ドライブモード中は安全走行支援サービス用のステータス各種が自動で記録されます。
 「ステータス名」と「ステータス画像」以外の設定は変更できません。
 ※ステータスの削除を希望される場合は、運営会社にお問い合わせください。

ステータス画像：



画像を選択してください

画像を選択してください



選択した画像に変更する

キャンセル

● 位置情報画面の地図上に表示されるユーザーのマーカー画像として使用されます。

キャンセル

ステータスを更新する

2.2.3 スマートフォンアプリで利用する



メンバーのスマートフォンアプリ上で利用するには以下の操作を行います。

Note: システム管理者が設定を変更した場合、必ずアプリケーション側でもこの操作を行ってください。ただし、1日以上経過すると、自動的にアプリケーションにも反映されます。

1. アプリの設定＞設定を同期をタップします。
2. ホーム画面に移動すると「運転開始」「運転終了」が表示されるようになります。

運転を開始する時には「運転開始」ボタンを押します。運転を終了した時には「運転終了」ボタンを押します。

アプリで運転を開始した時点から、運転データの記録と危険運転検知を開始します。

2.2.4 危険運転検知設定を調整する

- アプリで検知する危険運転判定の値を管理サイトで調整できます。

Note: この操作はシステム管理者以外行うことができません。

1. 管理サイトのメニュータブから安全走行支援＞危険運転検知設定をクリックします。
2. 各設定値が表示されます。ページ下部の「編集」ボタンをクリックします。
3. 各設定値を調整したら、「設定」ボタンをクリックしてください。
4. 変更後にアプリケーション側で **同期** を行って下さい。

危険運転検知設定 > 危険運転検知設定を編集

急加速閾値 : g

急減速閾値 : g

速度超過閾値 : km/h

(事前チェック)速度超過閾値 : km/h

長時間運転閾値 : 分

(事前チェック)長時間運転閾値 : 分

長時間アイドリング閾値 : 分

(事前チェック)長時間アイドリング閾値 : 分

長時間アイドリング距離閾値 : m

表 2.1 各設定値について

項目	説明
急加速閾値	急加速と判定する 加速度 を、 G 値 で設定します。
急減速閾値	急減速と判定する 減速度 を、 G 値 で設定します。
速度超過閾値	速度超過と判定する時速です。端末で通知を出し、サーバーにデータが送信されます。
(事前チェック) 速度超過閾値	速度超過と判定する時速です。端末で通知を出します。
長時間運転閾値	運転開始から運転終了までの分数が、ここで設定した分数を超えると、端末で通知を出し、サーバーにデータが送信されます。
(事前チェック) 長時間運転閾値	運転開始から運転終了までの分数が、ここで設定した分数を超えると、端末で通知を出します。
長時間アイドリング閾値	アイドリング判定に利用する時間です。この時間内の移動距離の合計が「長時間アイドリング距離閾値」以内であれば、端末で通知を出し、サーバーにデータが送信されます。
(事前チェック) 長時間アイドリング閾値	アイドリング判定に利用する時間です。この時間内の移動距離の合計が「長時間アイドリング距離閾値」以内であれば、端末で通知を出します。
長時間アイドリング距離閾値	上記アイドリング閾値と組み合わせて利用します。ここで設定した距離しか移動していない場合、アイドリングと判定します。

第3章

ユーザーの操作方法

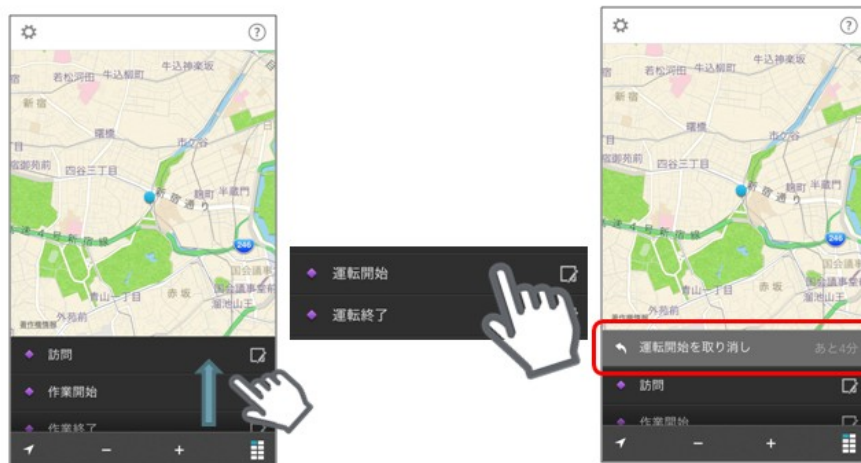
3.1 ホーム画面

Note: ログインや基本操作はアプリ操作説明書をご覧ください。

運転を開始する際にはアプリのホーム画面から「運転開始」をタップします。

操作を誤って、意図しないボタンをタップしてしまった場合は5分以内に取り消しができます。

- XXX を取り消しというボタンをタップしてください。

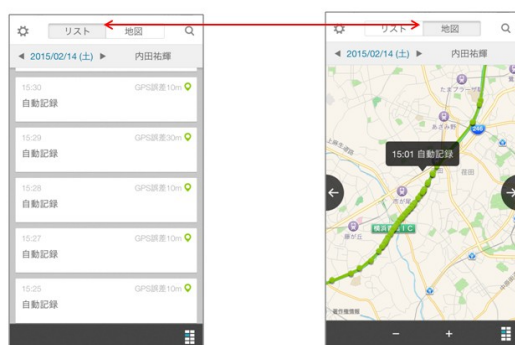


Note: 運転中は2秒おきにGPSを取得するため、電池消耗が予測されます。シガーソケット型の充電器を併用ください。

3.2 履歴画面

1日の行動記録をスマートフォン上で確認できます。

アプリのメニュー>履歴画面を開いて下さい。



リストと地図の切り替えができます。

3.3 運転中の警告について

危険運転やアイドリングを検知すると、スマートフォンアプリ上で警告が出ます。

- 警告音とともに、画面上にメッセージが表示されます。



OK ボタンで警告を閉じます。

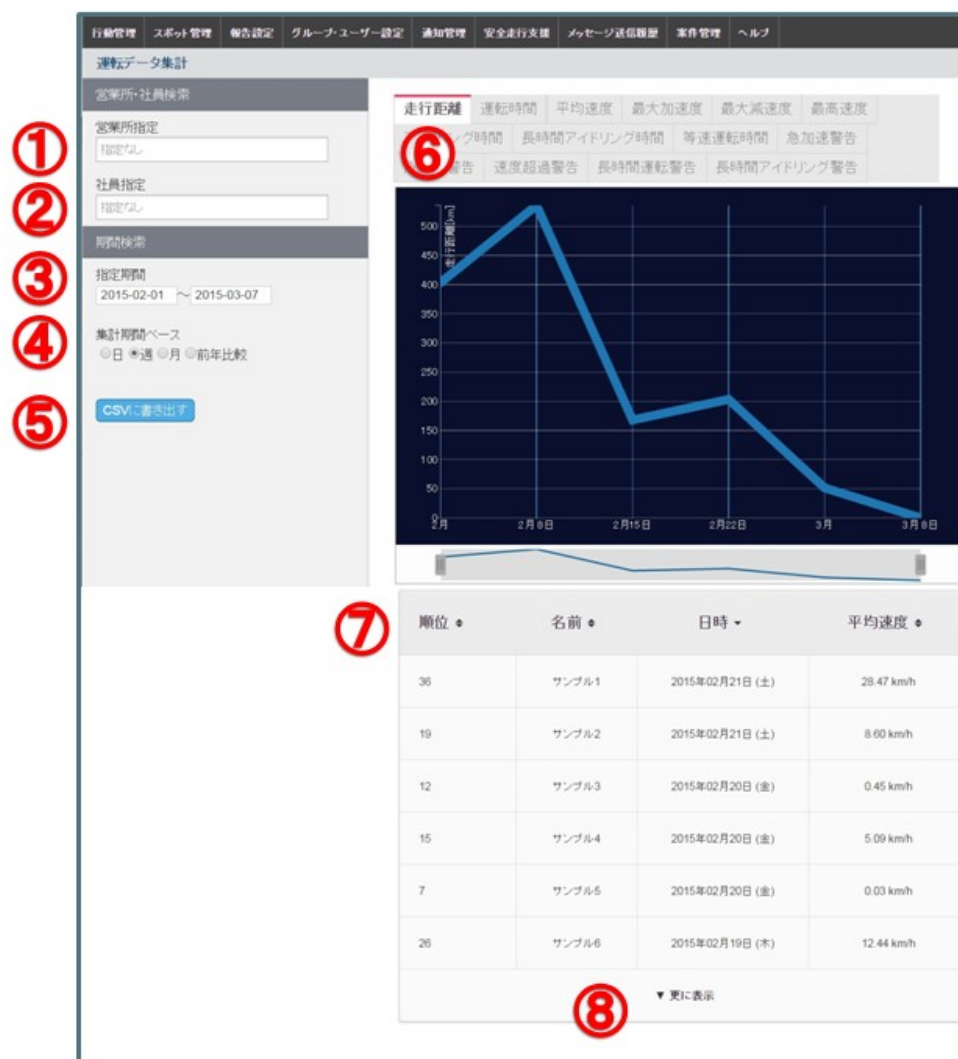
Note: 音量にご注意ください。

第 4 章

運用方法

4.1 運転データを閲覧する

管理サイトのメニュータブから安全走行支援＞運転データ集計をクリックしてください。



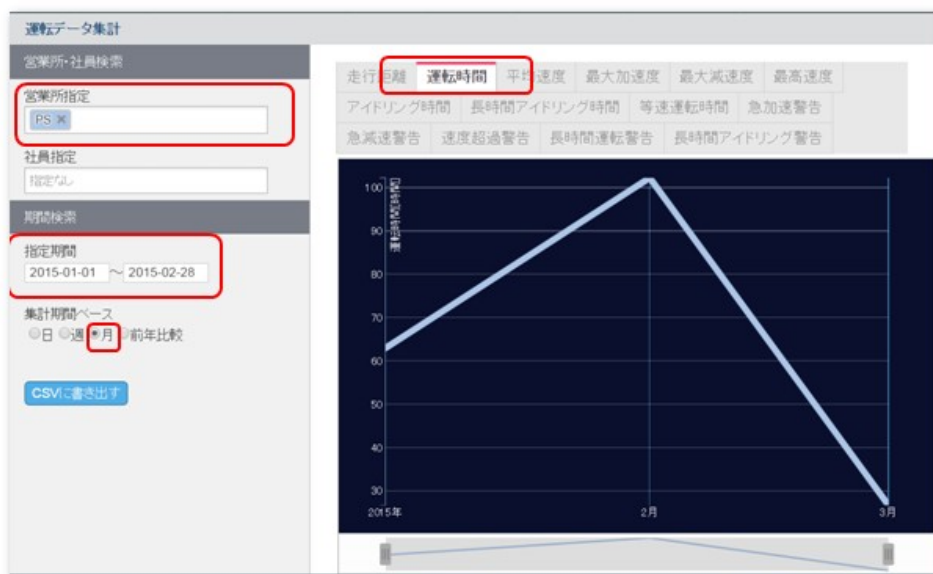
検索対象を選択するとリアルタイムでグラフが変動します。

各数値は検索対象のグループやメンバーの集計値となります。

1. 閲覧したいグループを指定します。
2. 閲覧したいメンバーを指定します。
3. 閲覧したい期間を指定します。
4. 集計データの 1 単位を指定します。
5. 指定した検索条件で csv で出力します。-> **csv データサンプル**
6. グラフの操作パネルです。 **グラフのスライダ操作** を行うことで対象日付をさらに絞りこむことができます。
7. ユーザー毎のデータです。各項目で並べ替えができます。
8. 「更に表示」をクリックすると、次の 5 件のデータを表示します。

検索例：

- 対象グループの 2 月・3 月の運転時間を見る場合



- 対象メンバーの 2 月 1 日から 2 月 20 日までの最大加速度を見る場合



表 4.1 各集計項目について

項目	単位	説明
走行距離	km	期間中の走行距離の合計です。
運転時間	時間・分	期間中の運転開始から運転終了までの時間の合計です。
平均速度	km/h	期間中の平均速度です。
最大加速度	g	期間中の最大加速度です。
最大減速度	g	期間中の最大減速度です。
最高速度	km/h	期間中の最高速度です。
アイドリング時間	時間・分	期間中に一定範囲内に滞在した時間の合計です。
長時間アイドリング時間	時間・分	アイドリング時間のうち、設定した閾値以上滞在した時間の合計です。
等速運転時間	時間・分	期間中に速度変化がない状態で運転が続いた時間です。
急加速警告	回数	期間中の警告回数です。
急減速警告	回数	期間中の警告回数です。
速度超過警告	回数	期間中の警告回数です。
長時間運転警告	回数	期間中の警告回数です。
長時間アイドリング警告	回数	期間中の警告回数です。

4.2 走行状況管理者を追加する

運転データの閲覧は初期設定時はシステム管理者のみですが、メンバーを「走行状況管理者」に設定することで、閲覧を許可できます。

4.2.1 走行状況管理者ができること

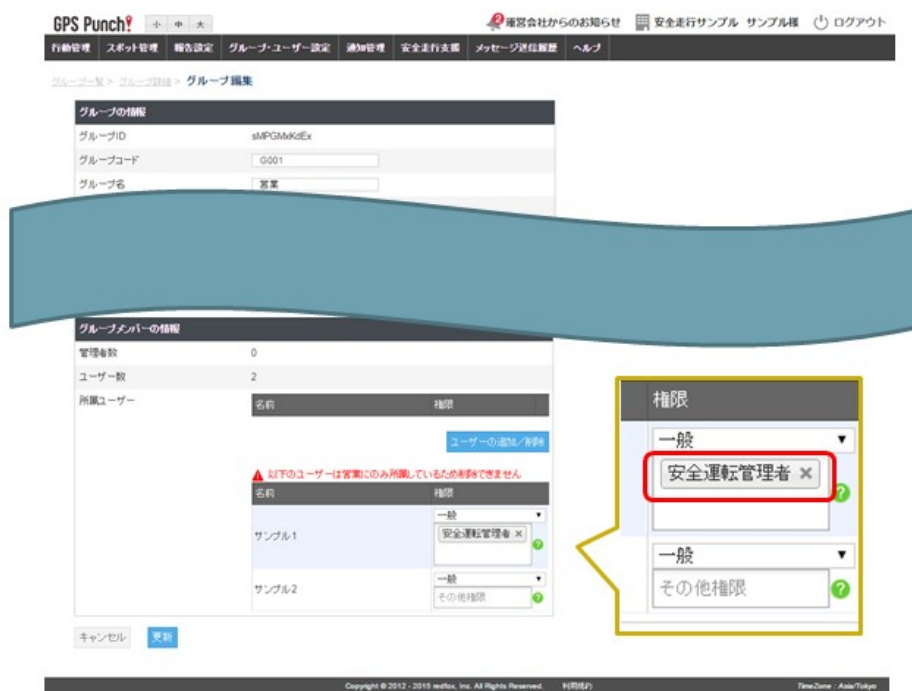
- 設定したグループ内のメンバーの [運転データ集計] が閲覧・CSV 出力できます。
- 設定したグループ内のメンバーの [行動情報] が閲覧・CSV 出力できます。

Note: 行動情報の操作は管理サイトマニュアルをご覧ください。

4.2.2 追加方法



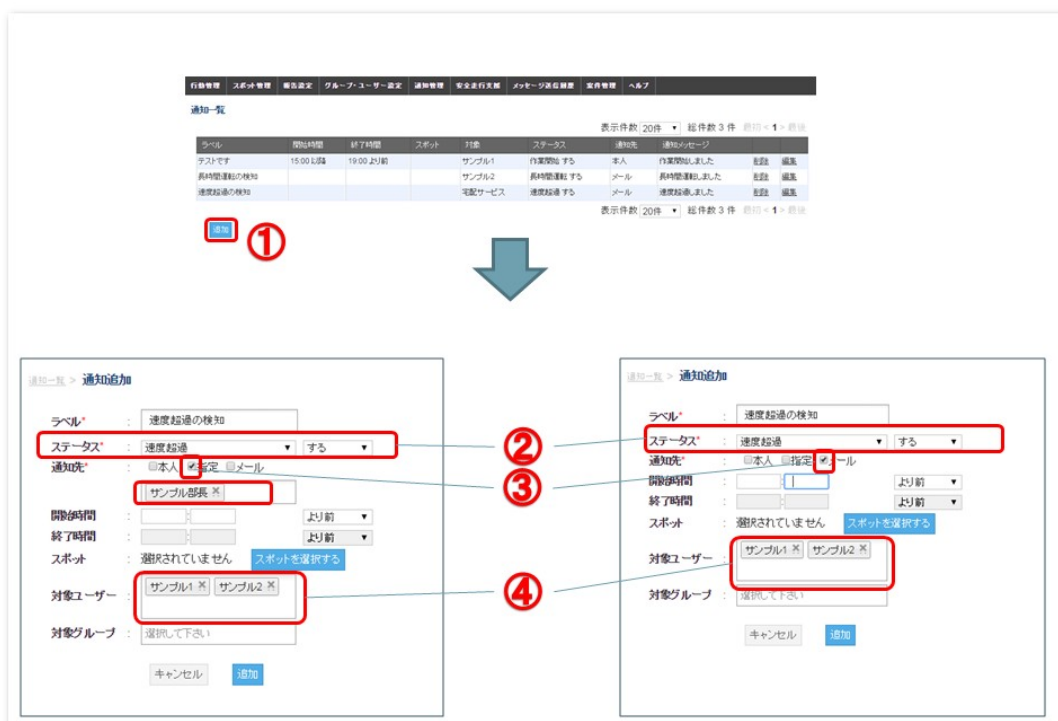
1. 管理サイトのメニュータブからグループ・ユーザー設定 > グループ設定をクリックします。
2. 対象のグループの詳細画面に移動します。
3. 編集ボタンをクリックします。
4. グループメンバーの中で「走行状況管理者」にしたいメンバーを設定します。
5. 設定したメンバーは管理サイト上で、設定したグループ内の [運転データ集計] が閲覧できるようになります。



4.3 危険運転の通知設定をする

メンバーの危険運転を検知した時に、管理者に通知で知らせることができます。

※ 通知設定を利用するには、別途オプション申し込みが必要です。



1. 管理サイトのメニュータブから通知管理をクリックして、「追加」ボタンを押してください。

2. ステータス欄に検知したい危険運転を選択してください。(例:速度超過をする)
3. 通知先を選択します。
4. 対象ユーザーを選択します。

通知先の設定

- ・ 本人 速度超過をした本人の端末にプッシュ通知が送信されます。
- ・ 指定 指定したメンバーの端末にプッシュ通知が送信されます。
- ・ メール システム管理者のメールアドレスにメールが送信されます。

4.4 危険運転をしたメンバーの状況を確認する

上記の通知設定等でメンバーの危険運転を検知した時の操作方法です。

- ・ 現在の状況を確認する
1. 管理サイトのメニュータブから行動管理 > 位置情報をクリックします。
 2. 検索条件に [本日][対象のメンバー] を指定して検索します。
 3. 対象ユーザーの1日の行動が表示されます。危険運転が発生した場所とその後の状況を確認します。



- ・ どんな状況で発生したのか確認する
1. 上記同様、対象メンバーの本日の行動履歴を検索します。
 2. 対象ユーザーの履歴を時系列で追い、何をする道中に危険運転が発生したのかを確認します。

対象ユーザーの1日の行動が表示されます。危険運転が発生した場所とその後の状況を確認します。



訪問予定の顧客がわかっている場合は、位置情報画面のスポットタブにて顧客の検索ができます。

- 客先に向かう途中だったのかどうか確認できます。

